

杉戸町今昔往来伝

古きをたずねて
杉戸を再発見

第84回

青い目の人形と杉戸②

ギューリックと同じく、日本財界の重鎮渋沢一もまた、悪化していく日米関係を深く憂慮していた一人でした。元々ギューリックとも親交があり、彼の提唱に共感を覚えた渋沢は、人形外交事業に賛同し、青い目の人形受け入れに尽力したのでした。

そのため渋沢は、日本国際親善会を組織。まさしくその目的は、「…米国世界児童親善会ノ寄贈ニ係ル人形ノ受領配布並ニ答礼其ノ他之ニ関スル事務ヲ処理ス（日本国際親善会規約）」ることになりました。同会の事務所は文部省内に置かれ、会長を渋沢が務めました。昭和二年（一九二七）、青い目の人形は、十二隻の船に分乗、横浜や神戸の港に到着し、三月三日の雛祭りには、明治神宮外苑の日本青年館において、盛大な歓迎式典が行われました。その式典には、渋沢のみならず、皇族、外務省と文部省の役人、そして日米の児童代表が参列したのでした。

青い目の人形は、全国の小学校などに配付されましたが、その全てに配付されたわけではありません。配付の基準や順次については、つぎのように決められていたようです。

〔前略〕

一、道府県ニ於テハ左ノ順次ニヨリ一学

校・幼稚園二人形一個ヲ配付セラレタシ
イ、道府県師範学校附属学校及幼稚園
ロ、道府県庁所在地ノ公私立小学校及幼稚園
ハ、道府県内主要都邑ノ公私立小学校及幼稚園
ニ、外国人ノ多数居住スル地方又ハ其ノ出入多キ土地（例ハ開市場、遊覧地、温泉場、避暑避寒地等）ノ公私立小学校及幼稚園
ホ、其ノ他ハ府県知事ノ適当ト認メタル公私立小学校及幼稚園
（後略）

特筆すべきは、こうした中で、杉戸尋常高等小学校、田宮尋常高等小学校にも青い目の人形が送られてきたことでしょう。（つづく）



▲青い目の人形受領式（杉戸小蔵）

（社会教育課 町史・文化財担当編）

Enjoy Sports ★ スポーツ協会



杉戸町スポーツ協会

町スポーツ協会の沿革

1974年10月10日、杉戸町体育協会として発足。杉戸町の各種競技団体を連合し、町内のスポーツを健全に普及発展させ、健康増進を図ることを目的として活動。2020年4月1日、団体名称が「**杉戸町スポーツ協会**」に改められました。

町スポーツ協会加盟傘下団体 14種目16団体

軟式野球・剣道・バレーボール・卓球・軟式テニス・硬式テニス・ソフトボール・弓道・グラウンドゴルフ・陸上・サッカー・バスケットボール・スキー・空手道・スポーツ少年団 **加盟人数2,945名（令和2年度）。随時加盟団体・会員募集中！**

機関誌「杉戸町スポ協だより」（毎年1月発行・全戸配布）

加盟団体の声を発信し続けて36年！町HP（右QRコードでアクセス）でも公開中！

町スポーツ協会主催・主管事業をチェック！

- ☑ **杉戸町スポーツ大会（主催）**：秋開催の別名「体協祭」。各種目の競技大会で力試し！
- ☑ **町民体育祭（主管）**：10月、老若男女が楽しめる様々な種目で親睦を深めます！
- ☑ **新春マラソン大会（主管）**：1月、レベルに合わせてお一人でも親子でも参加可能な大会です！
- ☑ **スポーツ教室（主催）**：初心者やジュニア向け、審判講習会等の豊富なカリキュラムです。

その他イベントへの参加や種目別リーグ戦等、団体独自の活動あり！



問合せ 杉戸町スポーツ協会事務局
社会教育課 スポーツ振興担当 内線493



UD FONT
by MORISAWA

ユニバーサルデザイン(UDフォント)を使用し、読みやすい書体を採用しました。

杉戸町
ホームページ



メール配信
すぎめー



広報スマホ版
マチイロ

